

共焦点レーザー顕微鏡でかなえる 超解像イメージング最新技術紹介

近年、イメージングに求められる要素はますます多様化しています。培養細胞や組織切片だけでなく、3D 培養やオルガノイドなど観察対象のボリュームが拡大する一方で、微細構造を明らかにするための解像度や微弱シグナルに対する感度、対象の動きをとらえるための速度が求められます。それら全てに対応するために開発された新しい検出技術と、それを用いたアプリケーション例をご紹介します。

セミナー

日時：2020 / 2 / 28 (金) 16:00 – 17:00

場所：2号館2階 大講義室

演者：カールツァイス株式会社 末永 佳代子

1. 高感度・高分解能・高速を同時にかなえる新技術
2. データ生産効率をあげる技術
3. マクロとミクロの情報をつなげるソリューション

事前のお申し込みは不要ですので、直接会場にお越しください。

デモンストレーション

日時：2020 / 3 / 2 (月) ~ 3 / 6 (金)

場所：2号館地階 顕微鏡コアラボ

展示機器：LSM 980 with Airyscan2 Multiplex

実機デモンストレーションの参加には事前のお申し込みが必要です。

ご希望日時を明記の上、下記お問合せ先までご連絡ください。

< お問合せ先 >

カールツァイス株式会社

担当：南 憲治

E-mail: kenji.minami@zeiss.com

ZEISS